

海外情報



ノンウエヴズ・マーケット特約

■ダン・ウェブフォーミング・インターナショナル社（米国）

エアレイドラインテスト終了間近

エアレイド加工設備メーカーのダン・ウェブフォーミング社は、長繊維エアレイドラインの第2段階テストをほぼ完了したと発表した。

同社では4月初旬にテストラインで、ドージング/開織設備の試験を行った。昨年8月から技術開発を行ってきた250mm幅の同ラインは、念願の製品化の見込みがたち、同社の今後を占う明るい材料となった。同社の短繊維ドラム形成の特許は1982年に取得されたが、ほとんどの国で期限切れとなっていた。

同社は10月の会議でカードシステムとクロスラッパーと競合する技術のリサーチを行うことを発表していた。その時点で、12~24mmの範囲の長繊維を使用した原反が生産できることを確信していた。一方、そうした素材は開織が不十分なために均一性に欠けるといふ難点があることも理解していた。

新規の設定では、カーペットくずを分類したり、サンタリー用の繊維同様に長繊維や純ステープルを加工するためにハンマーミルやシュレッダーとともに稼動するように設計されている。試験結果は6月には出る模様。改善がみられれば、同社では形成ヘッドの幅を

620mmまで広げる計画である。

■ブリティッシュ・ペトロリアム（欧州） フィルムと不織布事業を売却

ブリティッシュ・ペトロリアム（BP）社は欧州の不織布関連ポリマー・フィルム事業とドイツ不織布事業を売却する。

BP社は02年3月末、ドイツの自社プラスチック・ファブリケーション・グループの4フィルム工場を、ライニシェ・クンストstoffヴェルケ（RKW）社に売却することに合意した。

売却されるのは、サンタリー/医療用フィルム2工場、別のサンタリー・医療用フィルム/不織布工場、農業用フィルム・ネット工場。従業員は4工場で750人。また、米国の工業用通気性ポリプロピレンフィルム工場もRKW社に買収される。

これにより、RKW社はサンタリー事業規模を2倍に拡大し、製品の種類を増やしていく。フィルム部門は15工場となる。従業員は2,300人、年間売上は5億ユーロ。

なお、買収されるグロナウの不織布工場には、99年に設置した高速ラインを含むサーマルボンドラインが3ラインと、3.2m幅のспанボンドラインがある。

■米国・中国

спанレース生産能力が増加

米国BBA社は03年のспанレースライン増設を計画し、中国企業数社もспанレースラインの設置を計画しており、世界のспанレース生産能力は着実に増加しつつある。

BBA社は03年稼働開始予定のспанレースラインを発売し、世界の特種ワイパー市場に出荷する計画である。新ラインは米国サウスカロライナ州に設置される予定。投資金額は3,600万ドル。詳細は不明だが、この4.5m幅のパーフォジェット社製ラインの最大生産能力は1万5,000tで、北米最大級の規模。

リーテール・パーフォジェット社は中国企業からもспанレースラインを

受注している。同ラインは3.5m幅で、生産能力は4,000tである。また、パーフォジェット社は現在、中国で少なくともさらに2ラインの契約を進めている。中国では、さらにフライスナー社による別の2ラインの設置が計画されている。

このように、中国ではワイパー、医療用、テーブルクロスなどの製品が伸びており、спанレース生産能力は今後2年で2倍になると予想される。

01年の中国のспанレースの生産能力は約2万tであった。

■パーフォジェット社、ノードソン社、エーソン・ノイマグ社

спанボンド市場に3企業が参入

高性能спанボンド設備市場は、現在、ライコフィル4プロセスを受注しているライフエンホイザー社がほぼ独占しているが、新規参入組のリーテール・パーフォジェット社、ノードソン社、エーソン・ノイマグ社各社もспанボンド市場で次々に新規注文を取り付けている。

リーテール社は3年前にパーフォボンド技術を発表して以来、спанボンド市場で苦戦を強いられてきたが、今回、世界最大の軽量спанメルトメーカー、アヴゴール社との技術提携により活路を見出したい考え。

4月に行われたINDEXで、リーテール社は、アヴゴール社の衛生用品市場向けの厳しいスペックをリーテール社のспанボンド技術に適用し、技術強化を図ると発表した。

спанボンド市場に参入して3年目のノードソン社は、現在、好調に販売実績を伸ばしている。同社は米国ジョージア州を拠点としており、米国に2ビームの高速ラインを設置中で、5ビームの高速ラインも受注した。

エーソン・エンジニアリング社とノイマグ社は4月に合併して、エーソン・ノイマグ社を設立。新会社は、ドイツの繊維紡績機器メーカー、ノイマグ社に

よる100%所有となり、米国フロリダ州を拠点とする。受注内容は不明だが、数社と交渉中である。

■ポリマー・グループ (米国)

米国事業の連邦破産法の適用申請

ポリマー・グループ (PGI) は、社債保有者に財政上のリストラ策を受け入れられなかったため、米国の事業について会社更生法にあたる連邦破産法第11条の適用を申請した。

PGIは米国サウスカロライナ州の破産審査裁判所に連邦破産法第11条適用の申請を行ったが、適用対象は米国の子会社20社についてのみで、PGIの海外事業や合弁企業は影響を受けない。

これにより、PGIは、JPモルガン・チェイス・バンクをはじめとする貸主グループからの1億2,500ドルの占有債務者融資によって事業運営費を補い、リストラ策を実施することができる。

PGIは、社債保有者がリストラ策に同意しなかったことで、今回の申請は強制的に行われることとなった。同社は3月に経営計画を発表したが、社債保有者がこれを拒否した。

この計画では、社債保有者が割引される可能性のある非流動性社債を引き受けることになっていた。債権者はPGIに強制破産を申し入れたが、貸付銀行や2/3以上の債権者からリストラ策の支持を受けることができたPGIは強制破産の回避に成功した。

■ウェスタン・ノンウーヴンズ社 (米国)

不織布関連企業買収し設備を改良

ウェスタン・ノンウーヴンズ社は、今年、不織布関連企業を買収し、設備改良計画の一部として生産設備の整備計画を発表した。買収対象企業は不明だが、設備改良計画の規模、期間は発表されている。

同社のヒロフト事業は米国最大級であるが、すべての設備で品質を改善し、新製品をいくつか販売する。また、ニードルパンチ事業は、品質と効率

アップのための予算を投入する。

“セレックス”ナイロン・スパンボンド事業では、100万ドル以上を費やして2ラインのうち1ラインを改良する。これにより、製品強度が増し、均一製品の生産が可能となる。セレックスのターゲット市場は家庭用家具、フィルター、自動車業界である。

今回の改良はラインの紡績システムに注力され、次世代ナイロンを紡績することができるようになる。改良は2003年第2四半期までに完了の予定。

■米国

APベースの食肉用パッドが好調

米国の大手食肉用パッケージングメーカー2社は、高吸収性樹脂 (SAP) を含んだソーカー・パッドの販売を開始し、予想を上回る収益を上げた模様。

SAPベースのソーカー・パッドは、ティッシュ製品と比較して、食品医薬品局 (FDA) が食品への使用を承認して以来、注目を集めていた。なお、欧州では90年代初めから使用されている。

クリオバック社製品は、フラッフパルプとSAP粒剤から成る、高強度の吸水層の上面にポリエチレンフィルムを接着させている。同社はこのパッドを国内の食肉加工業者と販売店に販売している。同製品はとくに、食品加工業界の注目の的となっている。また、競合会社パクティブ社もSAPベースのパッドを販売している。

北米では、不織布およびそれ以外の素材のSAPベース・パッドに対する需要が高まっているが、不織布業界はそれほど巨大な市場とはならないと見ている。

■北米

PPメーカーの-margin 50%増

北米のポリプロピレン (PP) 生産能力は、今後数年で25%増加し、marginは50%増加する見込み。

北米のポリプロピレン・ホモポリマーの年間生産能力は、07年までに02

年始めの生産能力850万を200万t超えるとみられている。また、05年までに、主要原材料のプロピレン・モノマーと製品のポリプロピレン・ホモポリマーとの価格差は、0.15~0.20ドル/ポンドになる見込み。marginのピークは95~96年の0.20ドルであった。

過去3カ月の価格差は0.11ドル/ポンドで、最低価格差は0.08ドル/ポンドであった。ポリプロピレン業界は、現在のようになわずかなmarginでは今後の再投資が難しいとして、marginを引き上げる考え。

ポリプロピレン・ホモポリマーは、不織布業界の合成繊維消費量のほぼ半分を占める主要合成原料であるため、不織布業界にとってこの値上げは悪いニュース。

INDA発行の02年「不織布業界の世界の展望」によれば、00年の急激なポリプロピレン価格の値上がりは、不織布メーカー各社に大打撃を与えた。

■米国

原材料コスト増で価格上昇計画

ポリエステルとポリプロピレン価格が上昇しているため、欧州と北米の不織布メーカー各社は、難しい価格決定を迫られている。

現段階での価格戦略は混在しており、メーカーの中には、顧客に高コストのしわ寄せを押し付けているところや、戦略的なマーケティングの利点を探っているところもある。また、いつまで高い原材料費を負担し続けられるかを心配しているところも多い。

北米では、耐久性素材メーカーの方が、ディスプレイメーカーよりも、製品価格の値上げ傾向が強い。ポリエステル・ポリプロピレンメーカーが算出したところでは10%以上とみられている。欧州の不織布メーカーも原材料費の高騰に直面している。

カーペット素材業界では、コルボン

●海外の不織布関連イベント

ノンウーブン・トレーニングコース

期間：9月17～19日

開催地：ベルギー・ブラッセル

主催：EDANA

<http://www.edana.org>

国際不織布技術会議 (INTC 2002)

期間：9月24～26日

開催地：米国ジョージア州アトランタ

主催：INDA

<http://www.inda.org>

CINTE テキスタイル中国

期間：9月25～27日

開催地：中国・上海、上海光大会展中心

(Shanghai Everbright Convention Center)

主催：メッセ・フランクフルト (香港)

<http://www.messefrankfurt.com>

ティッシュワールド/展示会・会議

期間：9月30日～10月30日

開催地：米国フロリダ州マイアミ

主催：PPI

<http://www.tissueworld.com>

不織布トレーニングコース

期間：10月10～12日

主催：INDA

開催地：米国ノースカロライナ州

<http://www.inda.org>

IFAI Expo 2002

期間：10月24～26日

開催地：米国ノースカロライナ州シャーロット

主催：IFAI

<http://www.ifai.com>

KITTEX2002 / Korea International Technical Textile Exhibition

期間：10月31～11月2日

主催：KOREA FEDERATION OF TEXTILE INDUSTRIES

開催地：COEX, SEOUL

<http://www.kittex.com>

第12回アニュアル TANDEC コンファレンス

期間：11月19～21日

開催地：米国テネシー州ノックスビル、テネシー大学

主催：テネシー大学

<http://web.utk.edu/tancon/>

中国・国際ジオシンセティック展示会・会議

期間：11月19～21日

開催地：中国・上海

主催：CTMA

<http://www.chinanonwovens.com>

INDA フィルトレーション 2002

期間：12月3～5日

開催地：米国DC州ワシントン、ワシントン・コンベンションセンター

主催：INDA

<http://www.inda.org>

高い消費者製品から苦戦している建設関連製品部門を切り離すのが狙い。

CP&P社は、ティッシュ、パッケージング製品以外に、G-P社のエアレイド事業部としてタオル、ワイパー、サニタリー製品などの素材を生産している。また、同事業部はフランスで第2位の地位を占めるヴァニア・サニタリーブランドの生産も行っている。米国ジョージア州には85万9,000tのフラッフパルプ生産能力を所有する工場がある。

■中国

スパンレースを4ライン新設

西欧企業は中国市場にスパンレースラインを4ライン新設し、利益を上げている。現在、中国市場は急速に成長しており、とくにスパンレースが好調である。

ドイツのフライスナー社は、02年に入って中国企業に2ラインを販売し、現在、3ライン目が商業生産に向けて稼働中である。また、リーテール・パーフォジェット社も水流絡合ラインを浙江省で新設設置している。

河南省の颯安集団は、7月に600kg/hのフライスナー社製ドライヤーを導入した新ラインの商業生産に向けて稼働を開始する。同ラインはコットンを使用し、医療用、サニタリー用素材を生産する計画。福建省の福建南方社も生産能力500kg/hのフライスナー社製水流絡合ラインを設置し、2003年初めに生産を開始する。

また、中国南部の企業も2003年第1半期にフライスナー社製水流絡合ラインで生産を開始する計画。さらに、紹興ヘンシェン・テキスタイル社は03年始めにパーフォジェット社製ラインを新設する予定。

中国では90年代始めまで、スパンレースの生産はゼロに近かったが、90年代半ば～02年末に10ラインが稼働を開始している。なお、中国の01年のスパンレース生産量は約2万tであった。

ド・ノンウーヴンズ社とフロイデンベルク社タフト不織布部門が近いうちに製品価格を8%値上げすると発表。さらに、SI社は6%値上げ、ウェイン・テックス社も値上げを検討している。

■スターズ・テクニカル・テキスタイルズ社 (イタリア)

伊不織布メーカーが米進出を計画

イタリアの実業家が、連邦破産法第11条の適用を申請中のスターズ・テクニカル・テキスタイルズ社の買収、もしくは米国でのスパンボンド・ポリエステル生産工場建設に興味を示している。

ロベルト・バローニ氏は大陸横断の拡張計画について述べているが、オハイオ州シンシナティーのスターズ社本社への訪問も契約も行っていない。なお、バローニ氏は12月にカルティエーレ・マラーノ工場とノンウーヴンズ・ファブリアーノ工場をイタリア政府から買収し、不織布業界に参入している。

カルティエーレ・マラーノは、現在ノンウーヴンズ・インダストリーズと改名して、26名を雇用している。ポリエステルのスパンボンド不織布を生産し、02年

度は600万ユーロの収益を上げる計画。バローニ氏は、米国のポリエステル・スパンボンドラインを使い、自動車/フィルターメディアを生産したい考え。

北米に3ラインを所有しているスターズ社は12月にオハイオ州の米国破産審査裁判所に会社更生法の適用を申請した。

■ジョージア・パシフィック社 (米国) CP&P社を分離独立

ジョージア・パシフィック社は、今年末、消費者製品/パッケージングメーカー、CP&P社を10億ドルで分離独立させる申請を行った。CP&P社は欧州や北米で、タオル、ティッシュ、テーブルトップを生産しており、ジョージア社の建設関連製品事業を担っていた。分離は5月7日付でジョージア社の役員会に承認されている。

ジョージア社は、新会社株式の15～20%を新規公募で売り出す予定。同社は8億6,900万ドルの社債を含む26億ドルの債務があるとみられている。同社は12億ドルの債務を減少するために新規公募の方式を採り、よりマージンの